

改題 土楽たより

どうらく

Kogure 農場 2月号 (NO94)

2018年2月10日 (土) 発行 (毎月10日)

【農暦】 トップアスリートに人間的にも魅力を感じる！

○寒い日が続く。日本海側では豪雪で関東でも大雪警報が先週今週と続く。気流の蛇行によるというが世界的な寒波が起こっている。相変わらずの異常気象である。3日は節分で4日は立春である。春の字は馴染まない。酷寒の日が続く。節分は南南東に向き恵方巻を食べた。鬼は外と小声で豆をまく。恵方巻は関西で行われていたものである。最近は関東でも行われるようになった。スーパーの棚の前は大盛況で混んでいた。福が安易に招けるとは思わないが、何かしたい気持ちを共有する雰囲気伝わって来る。そんな気がした。

○平昌オリンピックが9日に始まる。1000分の一秒の戦いをNHKの深夜番組でやっていた。スキージャンプの高梨沙織をやっていた。トップアスリートは人間性でも鍛えられると思った。人間的にも

魅力を感じる。どの世界でも魅力を感じる人はその世界でのアスリートと同じ努力で人間性が培われた人であると思う。市井の人にも同じことが云える。誤解を恐れるので、優秀さだけが問われる訳でない事を申し添える。

○故野中広務には党派を超えて魅力を感じるのはトップアスリートの人間性に通底するものがあるからかも知れない。魅力ある人には共通するものがあるのだと思う。価値観を異にする？が“知”のトップアスリートと思われる人が多摩川に入水し亡なられた。西部邁である。学問の府(大学の俗化で)が失ってしまった思想・哲学？の聖の機能を担おうとした人だと私は思っている。巨星墜つ2つである。横道が過ぎたので止めにする。緊張を煽るの止めて平和を紡ぐオリンピックにと祈りたい。平昌オリンピックを楽しみたい。

○“農的生活”について述べたいと思いながら世情の事ばかり気になってしまう。雪が残り凍土の畑を眺めながら、これからの事を考えている。寒さで身体は畑に向わない。炬燵にうづくまる時間が多い。栽培計画や畑の準備など進めたいと思う。ハウスは寒風と雪で無残に破れてしまった。まずは、この片付けをしなくてはならない。(8日)

【楽農】 畑は凍土・雪化粧2回！

<畑A> ; なしくハウス> ; 寒波や雪で大破 <畑B> ; なし。

【楽市】 イベント交流・直売など



<雪化粧> 純白の世界。しばし見惚れる。

2日撮影

○イベントなど；山野草の会新年会（19日）ごみを考える会新年会（27日）笠吟連新年会（28日）共生つばさの会（1日）川柳の会（1日）に参加など。

○その他；吾国山の峠越え当分の間止める。

【つぶやき=Tweet】より不平等が少ない国に暮らす人々のほうが、より幸せ！

○最近読むのを楽しみにしているものがある。小学館の月刊本の窓（税込百円）の連載巻頭エッセイである。故菅原文太さんの妻・文子さんのものである。マスコミの報道視点にシックリできないことが多くなる中で心の中で首肯しながら共感と痛快さを覚えながら読んでいる。マスコミ、官僚、政治家には付度文化に毒されて欲しくない。マスコミには政権チェックの機能を果たして欲しいと叫びたくなる。こんな世情だからかこのエッセイには魅かれる。

○“昨年幸福度ランキングで日本は155ヶ国中51位でシンガポール、タイ、台湾よりかなり下。先進諸国G7ではカナダだけがベストテンに入っている。「より不平等が少ない国に暮らす人々のほうが、より幸せであると感じる」と報告書（国連）にある。”確かにみんな等しく貧乏していた時の方が

幸せだったように思える。“カッコ”内はエッセイの冒頭からの抜き書きである。幸福ランキングは孫引きになるが私の共感も少数派でなく多数派であるように思えてくる。このエッセイには、不正を暴かれる黄門さんの印籠ではないが痛快なものを感じる。語弊があり比喩も良くないが、そんな気分になる。購読を薦めたい。

○山梨県知事の勧誘もあって？故菅原文太さんと一緒に北杜市で有機農業を始め今も頑張っているという。菅原文子さんには、同世代でもあると聞くと憧れ以上の存在に思えてくる。北杜市には一時清里高原の帰りに何度か訪ねたサントリーの醸造所がある。自然が豊かなところである。サントリーの美酒の試飲も出来る。再訪してみたくなった。

○小淵、森内閣の官房長官を歴任した野中広務が逝去された。朝日川柳30日に“情けないヤジ憂いつつ古老逝く”があった。政治家の質は地に堕ちてしまったと思うのは川柳の詠み人だけではないと思う。野中さんに関わりのあった政治家には特に考えて頂きたと思う。政治家は言葉が命と言われるが、“西郷どん”の弱き人への思いと実行力は林真理子の物語なのかも知れないが歴史事実を辿れば実際そのものであったと推察される。国会答弁の言葉には響くものは皆無である。学んで欲しいものである。自民からは第二第三の野中広務を期待したいのだがいかがだろうか。貧しくも格差の無い社会にして欲しいと思うのだが。他人の不幸は蜜の味は無しにしたい。

**【後記】凍土の畑、春は遠い。笠間に。
kogure農場にお越し下さい。**

【特に編集せずランダムな構成にします】



<皆既月食>極寒の空に。

30日撮影

発行者；kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

HP；<http://ayaharu.my.coocan.jp>